

学会ニュースNo.85 トピックス

- ・ 秋季例会・講演会・臨地研究会会告
- ・ 研究委員会の設置 ・ 総会・評議員会報告 ・ 会則改定について
- ・ 彩の国環境地図作品展のご案内 ・ 会員の声 ・ お知らせ

会 告

○秋季例会(大崎校舎), 講演会, 臨地研究会のお知らせ

下記の要領で第29回秋季例会・第34回講演会を立正地理学会との共催により、大崎校舎で開催いたします。ふるってご参加下さい。また、会員以外の方々にも声を掛けていただくよう、お願いいたします。

記

- | | | |
|-----|----------------------|------------|
| 日 程 | 研究発表会：2005年11月12日（土） | 13時～14時 |
| | 講演会：2005年11月12日（土） | 14時10分～16時 |
| | 臨地研究会：2005年11月13日（日） | 9時～17時30分 |

○研究発表会・講演会

1. 日 時：2005年11月12日（土） 13時～16時
2. 会 場：立正大学大崎校舎 1152教室

〒141-8602品川区大崎4-2-16(JR大崎・五反田駅から徒歩5分)

3. 研究発表

- 1) 三澤 博（東武計画(株)地理情報本部）：企業におけるGIS利用～建設コンサルタント業の例として～
- 2) 鈴木 厚志（立正大学地球環境科学部）：アメリカ合衆国における地図学・GIS教育の変遷

○講演会

- 1) 山中 進（熊本大学大学院社会文化科学研究科教授）：変わる大学と地域
 - 2) 服部銈二郎（立正大学名誉教授）：江戸・東京 500年の挑戦
- 会場は研究発表会に同じ。時間：14時10分～16時

○第101回臨地研究会

1. 日 時：2005年11月13日（日） 午前10時集合
2. 集合場所：JR大崎駅東口「ホテルニューオータニ イン 東京」エントランス前広場
3. 案内者：大塚昌利・原美登里（立正大学地球環境科学部）
4. テー マ：変わる海の手ー東京品川の地域層と環境変化
5. 参加費：300円（別途、昼食代・交通費がかかります）
6. 募集定員：20名（定員に達し次第締め切らせていただきます）
7. 申し込み方法：参加希望者は葉書に住所・氏名・臨地研究会に参加の旨を明記して、立正地理学会集会委員会宛（〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地球環境科学部地理学教室内）、10月20日(木)までに郵送してください。

研究委員会の設置

地理教育研究委員会(継続)

1. 世話人：多田統一(代表)・上野英夫・中牧 崇
2. 趣 旨：地理教育の危機が叫ばれる中，当研究委員会では地理的な見方・考え方をどのように構築していくか，そしてそれらを踏まえて地理的知識の蓄積をどう図っていくかをねらいにして，具体的な指導事例の研究を進めてきました。中学校や高等学校，それに大学の教員を中心にした委員会構成でしたが，今後小学校や専門学校，教育行政や出版関係者，教員志望の学生なども含め，地理教育復権に向けた取り組みをおこなっていきたいと思います。会員の皆様の意欲的な参加を期待いたします。
3. 参加申込：氏名，住所，連絡先，電話番号，メールアドレスを明記し，葉書にて下記までお申し込み下さい。

申込先：〒173-0011 東京都板橋区双葉町22-8 菅原マンション403号 多田統一
TEL 03-3964-8548

4. 申込期限：2005年10月31日

○2005年度立正地理学会評議員会報告

2005年6月3日(金)18:00より熊谷校舎3号館会議室にて開催。出席者14名，委任状提出者11名，計25名。議事では，まず，2004年度事業報告が鈴木常任委員長よりなされた。次に2004年度決算報告が瀬戸会計委員長よりなされ，いずれの事項も承認された。引き続き，2005年事業計画案・予算案ならびに会則改定案が提出され，いずれの事項も承認された。

○2005年度(第60回)立正地理学会総会報告

2005年6月4日(土)11:20より熊谷校舎2101教室にて開催。出席者67名，委任状提出者194名，計261名。崎浜 靖・村田啓介両会員を正・副議長に選出し，議事に入った。議事では，まず2004年度事業報告・決算報告・会計監査報告がそれぞれ鈴木常任委員長，瀬戸会計委員長，松井会計監査からなされた。審議後，いずれの事項も承認された。引き続き，2005年度事業計画案・予算案，立正地理学会役員・各種委員会委員案・会則改定案が提出され，審議後，いずれの事項も承認された。また，大塚副常任委員長より研究委員会の募集案内があった。

○会則改定について

2005年度総会におきまして，会則の一部改定が承認されました。改定部分のみ掲載いたします。新会則の全文は『地域研究』最新号(46-1)と学会ホームページに掲載してありますのでご確認下さい。

第4章(改定部分のみ抜粋)

(新)第24条 評議員の中から常任委員5名を選出する。常任委員は常任委員長・副常任委員長・庶務会計委員長・集会委員長・編集委員長の職務を分担する。

(旧)第24条 評議員の中から常任委員6名を選出する。常任委員は常任委員長・副常任委員長・庶務委員長・会計委員長・集会委員長・編集委員長の職務を分担する。

(新)第25条 本会の業務を行うため、庶務会計委員会・集会委員会・編集委員会をおく。

各委員会の委員長は担当の常任委員があたる。常任委員長は各委員会を統括し、副常任委員長はこれを補佐する。

(旧)第25条 本会の業務を行うため、庶務委員会・会計委員会・集会委員会・編集委員会をおく。各委員会の委員長は担当の常任委員があたる。常任委員長は各委員会を統括し、副常任委員長はこれを補佐する。

(新)第26条 第25条に定める各委員会に、それぞれ委員若干名をおく。委員は評議員会で決定する。

(旧)第26条 庶務・会計・集会・編集の各委員会に、それぞれ委員若干名をおく。委員は評議員会で決定する。

(新)第27条 会務を円滑に遂行するため、合同委員会をおく。合同委員会は常任委員および第25条に定める各委員会の全委員により構成され、常任委員長が必要に応じてこれを召集する。

(旧)第27条 会務を円滑に遂行するため、合同委員会をおく。合同委員会は常任委員および庶務・会計・集会・編集の全委員により構成され、常任委員長が必要に応じてこれを召集する。

○2005年度「彩の国環境地図作品展」のご案内

立正大学地球環境科学部では、2002年度より「彩の国環境地図作品展」を開催しております。「彩の国環境地図作品展」は、身の回りの環境や地域の姿の観察・調査をおこない、地図として表現することにより、環境や地域に対する見方・考え方、地図の持つ可能性に対して、理解を深めることを目的としております。埼玉県内の小学校、中学校、高等学校特殊教育諸学校に在籍する児童生徒を対象として、本年度は2005年9月2日から9月16日まで作品を募集しておりました。

作品の展示会、ならびに入賞作品の発表会・表彰式を下記の日程で開催いたします。ぜひ、お出かけ下さい。

《発表会・表彰式》

2005年12月3日(土) 東京電力(株)TEPCO SONIC (大宮ソニックシティ31F)

《展示会》

2005年11月4日(金)～6日(日) 立正大学熊谷キャンパス(学園祭期間中)

2005年11月19日(土)～29日(火) 埼玉県自然学習センター(JR北本駅からバス)

2005年12月1日(木)～6日(火) 東京電力(株)TEPCO SONIC(大宮ソニックシティ31F)

2006年2月25日(土)～3月12日(日) さいたま川の博物館(JR寄居駅からバス)

入賞作品は、国土地理院「全国児童生徒地図優秀作品展」(2006年1月11日～2月19日)に出展されます。また、入賞作品・優秀作品は「彩の国環境地図作品展ホームページ」での閲覧もおこないます。

「彩の国環境地図作品展」ホームページ

<http://www.geo.ris.ac.jp/~ecomap/>

鈴木厚志・原美登里(立正大学)・亀井啓一郎(立正大学・非)

○会員の声

イギリス・ポーツマスの街と住宅（20世紀初頭まで）

島津 弘

イギリスでは1840年代からきちんと測量された地図がOrdnance Surveyによってつくられてきた。しかも、その縮尺は1:2500である。現在私が住んでいるイギリス南部の都市ポーツマス地域では、戦前の1867年、1898年、1909年、1933年（図幅によって多少前後する）に初版と3回の修正測量版の1:2500地図が発行された。なお、これは発行年で調査年はその数年前となる。この地図を見ると街の変化の様子が建物レベルで詳細に復元できる。それについての詳しいことは別の機会に書くとして、ポーツマスはちょうど地図の発行にあわせてその姿を大きく変えてきた。

ポーツマスはヘンリー7世（15世紀末）以降、イギリス海軍の港、ドックの街として戦争があるたびに栄えてきたという歴史を持っている。Port Sea Islandと呼ばれたこの地はBritain島とは陸続きではない。南北6km、東西5kmの小さな島である。この島の南西端には15世紀初頭に城壁や塔が築かれた。ローマ・カトリックと決別したヘンリー8世は、それに加えて南海岸の中心にフランスをにらむポーツマス城を築いた。現在でも一部の城壁、塔とポーツマス城が残っている。軍港はこの島の西側の入り江にある。

時代は下り、19世紀に入って1822年にロンドンとの間を結ぶ運河航路が完成した。小さな島に運河というのも変だが、西海岸から東海岸へ抜け、干潟を掘り抜いてロンドンへ通じる運河と接続していたらしい。この運河は鉄道建設のため16年後の1838年に閉鎖された。

その後1847年にはPortsmouth Town（現在のPortsmouth & Southsea）駅までLondon and South Western鉄道の開通、1876年にドックに接したPortsmouth Harbour駅までの鉄道伸張、1885年にSouthsea支線の開通（1923年廃止）と交通網の発達にともなって、海軍の街から海軍と観光（リゾート）を中心とした近代都市へと発展してきた。

18世紀初めから19世紀前半までのジョージ1～4世の時代は一般にGeorgianと呼ばれる。特にジョージ3世（～1820）までの建築をそのように呼ぶ。イギリスでほぼ毎日テレビニュースに登場するロンドンの首相官邸もGeorgian建築のアパートである。ポーツマスでも1867年発行の地図に描かれている現存する建物（テラスハウス）を見てみると（写真1）、ロンドンのそれと似たような形をしている。平入りで半地下のBasementがあり、黒く塗った鉄の格子柵がつけられている。この時代の街の中心は島の南西端付近から軍港を取り巻く地域であった。



写真1

イギリスでほぼ毎日テレビニュースに登場するロンドンの首相官邸もGeorgian建築のアパートである。ポーツマスでも1867年発行の地図に描かれている現存する建物（テラスハウス）を見てみると（写真1）、ロンドンのそれと似たような形をしている。平入りで半地下のBasementがあり、黒く塗った鉄の格子柵がつけられている。この時代の街の中心は島の南西端付近から軍港を取り巻く地域であった。



写真2

ポーツマスでは鉄道開通後の19世紀半ばから住宅建設ラッシュが始まる。住宅は南海岸沿いの地区Southseaへ。そして、19世紀末にかけて東へと広がっていく。Southsea支線もこの住宅開発と南海岸リゾートへの旅客輸送に対応して開通した。1867年、1898年、1909年の地形図を見比べると急激に住宅が増えていくことがよくわかる。そのとき時代はビクトリア女王の時代で、出窓が特徴的なVictorian建築真っ盛りである。街の中心部にはdetached house（1戸建て）は少なく、大部分がsemi-

detached（2軒長屋：写真2）または同様の構造を持つ建物が長く連なったものである。現在、Southseaで見られる建物の大半は1910年以前に建てられたVictorian住宅である。現在でもsemi-detached houseとして使われている家も少なくないが、はじめからあるいは改造されて1 or 2 bed room flatとなっている家がかかりある。私が住んでいるのもsemi-detached house形式の家だが、いまは1つの建物（すなわち2軒分）に12軒のフラットが入っている（なお、私のフラットは通りに面していないので、残念ながら出窓はない）。この家は1898年発行の地図に現在と同じ形で登場する。このブロックの住宅建設が1867年発行の地図ですでに始まっているので、1870年頃には建ったのではないだろうか。コナン・ドイルが我が家から歩いて5分ほどのところに開業し、患者が来ないので暇をもてあまして書いた最初の探偵小説「緋色の研究」（主人公はもちろんシャーロック・ホームズ）は1887年に出版された。そういう時代である。

○会費納入のお願い

2005年度分会費が未納の方は、お早めにご納入下さい。過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員	4,000円	学生会員	2,500円
00130-8-13453		立正地理学会	

※最近、払込取扱票の払込人住所氏名の欄が未記入のものが多く見受けられます。とくに、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない払込取扱票の対応に苦慮しております。何とぞ、ご入金の際には氏名欄のご確認をお願いいたします。

(庶務会計委員会)

○お知らせ

立正地理学位会創立40周年記念パーティー開催のお知らせ

下記の要領にて、立正地理学位会創立40周年記念パーティーを開催いたします。参加を希望される方は、10月21日(金)までに、ハガキにて立正大学地理学教室 原美登里までご連絡下さい。

記

1. 日 時 : 11月12日(土) 午後5時～
2. 場 所 : ゆうぽうと(大崎広小路) 末広の間
3. 会 費 : 博士号取得者・予定者 10,000円
博士号取得予定者(大学院生) 7,000円
4. 連絡先 : 〒360-0194 熊谷市万吉1700立正大学地理学教室 原美登里 まで

原稿募集のお願い

編集委員会では、各種原稿を募集しております。会員諸氏からの積極的な投稿を期待しております。また、会員間の催し物等の情報の掲載もご相談下さい。よろしくお願いたします。

(編集委員会)

【地理写真】



ロンドン中心部

2003年9月25日高木撮影
イギリス・ロンドン

テムズ川のほとりに立つ巨大な観覧車「ロンドンアイ」からの眺め。左手の大きな建物はチャリング・クロス駅。テムズ川観光船の姿も見受けられる。対岸に浮かぶ船は係留されており、レストランとして使用されている。

編集後記

30℃以上の日が続いていた熊谷も、やっと秋の気配となりました。行楽にはいい季節です。この秋もいろいろな行事が開催されます。秋の例会は大崎校舎での開催となります。会員以外の卒業生の方でも参加できますので、同窓会もかねてぜひご参加下さい。

立正地理学会ニュース No.85

2005年9月30日発行 編集者 立正地理学会編集委員会
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内
電 話 048-539-1660 振 替 00130-8-13453
URL : <http://www.ris.ac.jp/geosoc/> e-mail : geosoc@ris.ac.jp